

# 世界標準債券ファンド 〈愛称 ニューサミット〉

## 運用報告書（全体版）

第161期（決算日 2023年8月17日）第163期（決算日 2023年10月17日）第165期（決算日 2023年12月18日）  
第162期（決算日 2023年9月19日）第164期（決算日 2023年11月17日）第166期（決算日 2024年1月17日）

### 受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り、厚くお礼申し上げます。  
「世界標準債券ファンド」は、2024年1月17日に第166期の決算を行ないましたので、第161期から第166期の運用状況をまとめてご報告申し上げます。  
今後とも一層のお引き立てを賜りますようお願い申し上げます。

### 当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／内外／債券
信託期間	2010年3月18日から2030年1月17日までです。
運用方針	主として、国際経済・国際政治の動向に大きな影響を与えるとみられる国や地域の通貨建てのソブリン債券（国債、州政府債、政府保証債、国際機関債などをいいます。）を主要投資対象とする投資信託証券（投資信託または外国投資信託の受益証券（振替投資信託受益権を含みます。）および投資法人または外国投資法人の投資証券をいいます。）の一部、またはすべてに投資を行ない、安定した収益の確保と信託財産の成長をめざして運用を行ないます。
主要運用対象	「ワールド・コア・ソブリン・ボンド・ファンド クラスA」受益証券 「マネー・アカウント・マザーファンド」受益証券 上記の投資信託証券を主要投資対象とします。
組入制限	投資信託証券、短期社債等、コマーシャル・ペーパーおよび指定金銭信託以外の有価証券への直接投資は行ないません。外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。
分配方針	第1計算期は収益分配を行ないません。第2計算期以降、毎決算時、原則として安定した分配を継続的に行なうことをめざします。

<641251>

## 日興アセットマネジメント株式会社

東京都港区赤坂九丁目7番1号  
www.nikkoam.com/

当運用報告書に関するお問い合わせ先

コールセンター 電話番号：0120-25-1404  
午前9時～午後5時 土、日、祝・休日は除きます。

●お取引状況等についてはご購入された販売会社にお問い合わせください。

## 【運用報告書の表記について】

・原則として、各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しておりますので、表中の個々の数字の合計が合計欄の値とは一致しないことがあります。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。

## ○最近30期の運用実績

決算期	基準価額 (分配落)	標準価額			債 組 入 比	券 率	投 資 信 託 組 入 比	純 資 産 額	
		税 分	込 配	み 金					期 騰 落
	円		円			%	%	百万円	
137期(2021年8月17日)	3,286		20			△0.3	—	98.5	7,057
138期(2021年9月17日)	3,294		20			0.9	—	98.5	7,015
139期(2021年10月18日)	3,382		20			3.3	—	98.4	7,097
140期(2021年11月17日)	3,320		20			△1.2	—	98.3	6,861
141期(2021年12月17日)	3,268		20			△1.0	—	98.6	6,675
142期(2022年1月17日)	3,269		20			0.6	—	98.3	6,613
143期(2022年2月17日)	3,276		20			0.8	—	97.6	6,568
144期(2022年3月17日)	3,252		20			△0.1	—	98.5	6,484
145期(2022年4月18日)	3,441		20			6.4	—	98.5	6,702
146期(2022年5月17日)	3,413		20			△0.2	—	98.4	6,553
147期(2022年6月17日)	3,391		20			△0.1	—	98.6	6,400
148期(2022年7月19日)	3,560		20			5.6	—	98.6	6,672
149期(2022年8月17日)	3,577		20			1.0	—	98.4	6,620
150期(2022年9月20日)	3,665		20			3.0	—	98.5	6,667
151期(2022年10月17日)	3,614		20			△0.8	—	98.3	6,512
152期(2022年11月17日)	3,541		20			△1.5	—	98.3	6,334
153期(2022年12月19日)	3,454		20			△1.9	—	98.7	6,124
154期(2023年1月17日)	3,380		20			△1.6	—	98.3	5,970
155期(2023年2月17日)	3,497		20			4.1	—	98.3	6,147
156期(2023年3月17日)	3,406		20			△2.0	—	98.4	5,935
157期(2023年4月17日)	3,542		20			4.6	—	98.3	6,126
158期(2023年5月17日)	3,663		20			4.0	—	98.3	6,283
159期(2023年6月19日)	3,812		20			4.6	—	98.4	6,460
160期(2023年7月18日)	3,768		20			△0.6	—	98.4	6,340
161期(2023年8月17日)	3,782		20			0.9	—	98.4	6,312
162期(2023年9月19日)	3,753		20			△0.2	—	98.4	6,223
163期(2023年10月17日)	3,638		20			△2.5	—	98.4	5,977
164期(2023年11月17日)	3,778		20			4.4	—	98.5	6,123
165期(2023年12月18日)	3,689		20			△1.8	—	98.5	5,850
166期(2024年1月17日)	3,791		20			3.3	—	98.2	5,970

(注) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「債券組入比率」は実質比率を記載しております。

(注) ファンドの商品性格に適合する適切なベンチマークおよび参考指数はございません。

## ○当作成期中の基準価額と市況等の推移

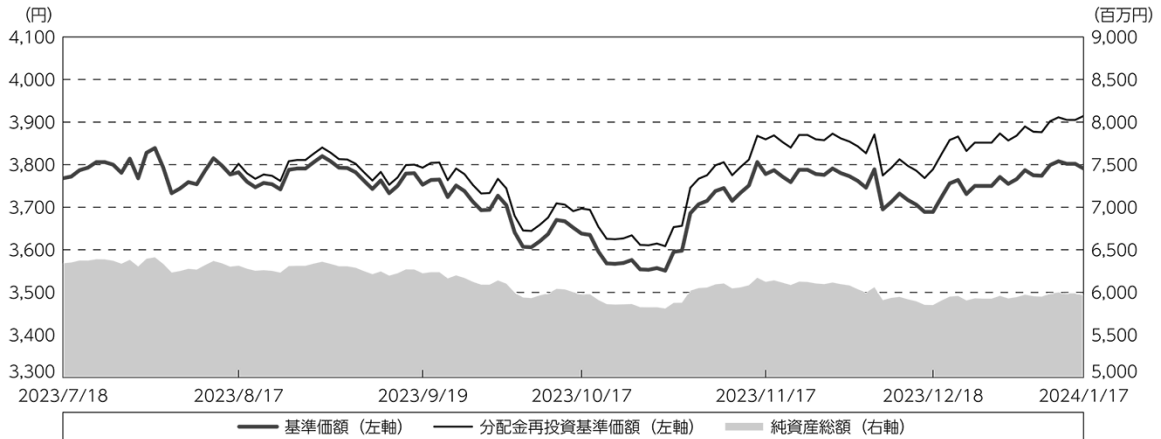
決算期	年 月 日	基 準	価 額		投 資 信 託 組 入 比 率
			騰 落	率	
第161期	(期 首) 2023年 7月18日	円 3,768		% —	% 98.4
	7月末	3,768		0.0	98.3
	(期 末) 2023年 8月17日	3,802		0.9	98.4
第162期	(期 首) 2023年 8月17日	3,782		—	98.4
	8月末	3,820		1.0	98.5
	(期 末) 2023年 9月19日	3,773		△0.2	98.4
第163期	(期 首) 2023年 9月19日	3,753		—	98.4
	9月末	3,694		△1.6	98.6
	(期 末) 2023年10月17日	3,658		△2.5	98.4
第164期	(期 首) 2023年10月17日	3,638		—	98.4
	10月末	3,551		△2.4	98.5
	(期 末) 2023年11月17日	3,798		4.4	98.5
第165期	(期 首) 2023年11月17日	3,778		—	98.5
	11月末	3,791		0.3	98.7
	(期 末) 2023年12月18日	3,709		△1.8	98.5
第166期	(期 首) 2023年12月18日	3,689		—	98.5
	12月末	3,755		1.8	98.7
	(期 末) 2024年 1月17日	3,811		3.3	98.2

(注) 期末の基準価額は分配金込み、騰落率は期首比です。

## ○運用経過

(2023年7月19日～2024年1月17日)

## 作成期間中の基準価額等の推移



第161期首：3,768円

第166期末：3,791円 (既払分配金(税込み)：120円)

騰落率：3.9% (分配金再投資ベース)

- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 分配金再投資基準価額は、作成期首(2023年7月18日)の値が基準価額と同一となるように指数化しております。
- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。
- (注) 当ファンドの運用方針に対し、適切に比較できる指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設定しておりません。

## ○基準価額の主な変動要因

当ファンドは、主として、国際経済・国際政治の動向に大きな影響を与えるとみられる国や地域の通貨建てのソブリン債券を主要投資対象とする投資信託証券に投資を行ない、安定した収益の確保と信託財産の成長をめざして運用を行なっております。当作成期間中における基準価額の主な変動要因は、以下の通りです。

## &lt;値上がり要因&gt;

- ・利回りの高い現地通貨建て債券への投資によるインカム収入を得たこと。
- ・オーストラリアドルなどの投資対象通貨が対円で上昇したこと。
- ・メキシコやインドネシアの債券市場が堅調に推移したこと。

## &lt;値下がり要因&gt;

- ・期間の前半に債券価格が下落したこと。

## 投資環境

### (海外債券市況)

期間の前半は、市場参加者の間で「高金利の長期化」というテーマが織り込まれ始め、近クリセッション（景気後退）に陥るリスクが大きく低下するなか、債券利回りは全般的に大きく上昇（債券価格は下落）しました。主要国の労働市場は非常に逼迫した状態が続き、原油価格は上昇傾向を維持したことから、当面のディスインフレ傾向は勢いを失う可能性が示唆されました。このことが特に鮮明となったのは米国で、非農業部門雇用者数やその他の労働市場の指標が市場予想を上回るなか、米国連邦準備制度理事会（FRB）は引き締めサイクルはまだ終了していないとの見方を示しました。米国と欧州諸国との間における経済活動状況の乖離がアメリカドルの明確な上昇につながり、この頃の為替市場の主なテーマとなりました。これに加えて、世界の債券利回りが上昇したことから、世界の金融市場の他の部分に圧力がもたらされ、クレジット市場や新興国市場にも緊張が広がりましたが、いずれもこれまでのところ底堅さを維持しています。期間の後半に主なテーマとなったのは、米国を中心とした好調な経済活動と緩やかに減速しながらも高止まりしているインフレで、これらが引き続き市場価格に影響を及ぼしました。こうした環境が債券利回りにさらなる上昇圧力をもたらし、米国国債10年物の利回りは2023年10月に4.9%に達しました。こうした動向を受けて、市場ではFRBや欧州中央銀行（ECB）がともに政策金利を現在の水準で長期間維持するとの見方が広がりました。パレスチナのガザ地区における地政学的リスクの高まりについては、市場でまだ十分には評価されていませんでしたが、その影響は域内にとどまっているとみられます。期間の終盤にかけては、ソフトランディング（経済の軟着陸）のテーマが再浮上したことやFRBを中心として中央銀行がハト派（金融緩和的な政策を支持）的な姿勢を示したことを受けて、市場のセンチメントはポジティブなものとなりました。11月の債券市場は数十年ぶりの好調な月となり、S&P 500指数も堅調なパフォーマンスとなりました。FRBがハト派的な姿勢に転じたとの観測が再び広がり、投資家の間ではFRBが利上げサイクルの終結に達したとの確信が強まりました。上昇のきっかけとなったのは11月の米国連邦公開市場委員会（FOMC）会合であり、その会合で金融環境が大幅に引き締められたことが改めて示されました。12月の市場センチメントは、FRBが予想外に政策に関する姿勢を転換したことを受けて引き続き良好となり、債券および株式市場の両方が上昇しました。市場では、FRBの姿勢の転換は積極的な引き締めサイクルの終了や利下げ開始の可能性を示唆していると解釈されました。

新興国市場に対する市場心理がポジティブなものとなったことを受けて、インドネシアとメキシコの債券市場はともに堅調に推移しました。両国の中央銀行は慎重な姿勢を維持しており、期間を通じて引き締めバイアスをとってきました。

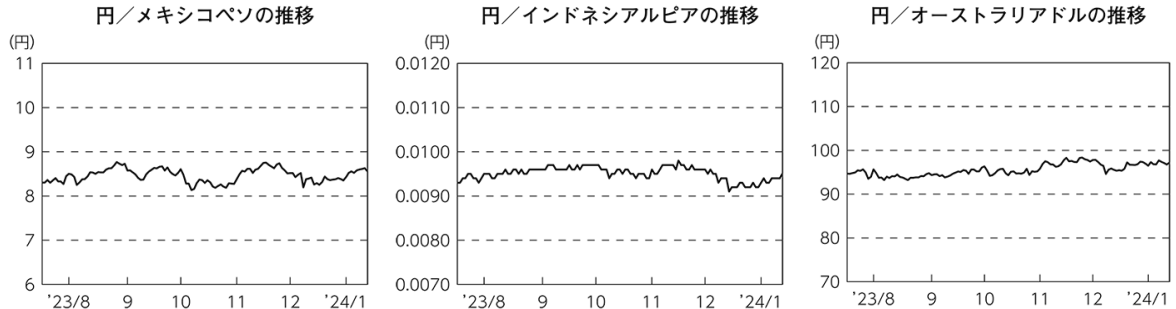
### (国内短期金利市況)

無担保コール翌日物金利は、期間の初めの-0.05%近辺から、日銀によるマイナス金利政策の下でコール市場でもマイナス圏での取引が続き、-0.01%近辺で期間末を迎えました。

国庫短期証券（TB）3ヵ月物金利は、期間の初めの-0.15%近辺から、日銀による国債買入れの継続などを受けてマイナス圏での推移が続き、-0.22%近辺で期間末を迎えました。

(為替市況)

期間中における主要通貨(対円)は、下記の推移となりました。



## 当ファンドのポートフォリオ

(当ファンド)

当ファンドは、収益性を追求するため、「ワールド・コア・ソブリン・ボンド・ファンド クラスA」受益証券を高位に組み入れ、「マネー・アカウント・マザーファンド」受益証券への投資を抑制しました。

(ワールド・コア・ソブリン・ボンド・ファンド クラスA)

メキシコペソについては、足元でアウトパフォームしていることを受けてポジションを縮小しましたが、引き続き投資対象通貨の中で最大の保有比率となっています。メキシコペソは、高利回り、財政の健全性、良好な通貨のバリュエーション(価値評価)、安定的な国際収支が魅力と言えます。メキシコは、米国の供給網の製造ハブとして米国・メキシコ・カナダ協定(USMCA)の中で不可欠な役割を担っています。米国の大規模な財政出動によって、自動車を中心として消費者の輸入需要が続いています。加えて、インフレにもかかわらず新型コロナウイルスのパンデミック(世界的な大流行)時に積み上げられた大幅な貯蓄が支出に回されるなか、メキシコは米国からの観光客の主な目的地として恩恵を受けています。

インドネシアルピアについては、通貨の見通しが良好であることからポジションを拡大しました。インドネシアはインフレに対して魅力的な利回りを提供しており、中央銀行は金融緩和を急ぐのではなく、通貨の安定を確保することにしっかりと取り組んでいます。中国が積極的な景気刺激策を実施するなか、中国のコモディティ需要の持ち直しから、同国は恩恵を受ける可能性があります。インドネシアでは、市場参入の緩和や労働の柔軟性の向上を目的として構造改革が続けられており、同国は持続的な海外からの直接投資が見込まれる状況にあります。

先進国市場では、オーストラリアドルに対するポジティブな見方を維持しています。オーストラリアの中央銀行は金融引き締めを実施し、その結果、債券市場は魅力的な利回りを提供しています。現在景気刺激策が実施されている中国に地理的に近いことは、オーストラリアの追い風となります。オーストラリアの国境が再開されたことによって観光客や学生が受け入れられており、経済が押し上げられています。コモディティやサービスの輸出が好調となるなか国際収支は改善しており、経常収支は黒字が続くと予想されます。急成長するアジア太平洋諸国への鉄鉱石や天然ガスの販売によって貿易黒字が続いており、財政収支は黒字化することが予想されています。

(マネー・アカウント・マザーファンド)

運用の基本方針に従い、国庫短期証券の購入や現先取引、コールローンや金銭信託などを通じて、元本の安全性を重視した運用を行ないました。

### 当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドの運用方針に対し、適切に比較できる指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設定しておりません。

### 分配金

分配金は、運用実績や市況動向などを勘案し、以下のとおりといたしました。なお、分配金に充当しなかった収益につきましては、信託財産内に留保し、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

### ○分配原資の内訳

(単位：円、1万口当たり、税込み)

項 目	第161期	第162期	第163期	第164期	第165期	第166期
	2023年7月19日～ 2023年8月17日	2023年8月18日～ 2023年9月19日	2023年9月20日～ 2023年10月17日	2023年10月18日～ 2023年11月17日	2023年11月18日～ 2023年12月18日	2023年12月19日～ 2024年1月17日
当期分配金 (対基準価額比率)	20 0.526%	20 0.530%	20 0.547%	20 0.527%	20 0.539%	20 0.525%
当期の収益	20	20	20	20	20	20
当期の収益以外	—	—	—	—	—	—
翌期繰越分配対象額	402	406	410	416	420	427

(注) 対基準価額比率は当期分配金(税込み)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

### ○今後の運用方針

(当ファンド)

引き続き、「ワールド・コア・ソブリン・ボンド・ファンド クラスA」受益証券を原則として高位に組み入れ、「マネー・アカウント・マザーファンド」受益証券への投資を抑制する方針です。

(ワールド・コア・ソブリン・ボンド・ファンド クラスA)

現在の戦略は、外的要因に大きく左右されることのない強固なストーリーに注目しています。中期的に、先進国の金融政策がより緩和的になるとみており、また新興国が先進国の成長を上回るなか、新興国と先進国の成長の乖離が再び拡大するとみられることから、新興国市場の見通しに対して強気な見方を維持しています。特に、中国は苦戦している経済の回復に努めており、これが新興国セクター全体の主な追い風になるとみられます。

当ファンドでは、インフレ率に対して金利が高く実質的なインカムの創出が高水準である市場、通貨のバ

リユエーションが魅力的な水準にあり長期的に上昇が見込まれる市場、構造改革に下支えされた長期的な成長ポテンシャルがある市場、制度的な信頼が強固である市場に着目し、引き続き積極的に新規投資機会を追求していく方針です。

将来の市場環境の変動などにより、当該運用方針が変更される場合があります。

(マネー・アカウント・マザーファンド)

引き続き、安定した収益の確保をめざして安定運用を行なう方針です。主な投資対象は、わが国の国債および格付の高い公社債とし、それらの現先取引なども活用する方針です。また、コールローンや金銭信託などに投資することもあります。

将来の市場環境の変動などにより、当該運用方針が変更される場合があります。

今後ともご愛顧賜りますよう、よろしく願い申し上げます。

## ○ 1万口当たりの費用明細

(2023年7月19日～2024年1月17日)

項 目	第161期～第166期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	21	0.572	(a) 信託報酬＝作成期間の平均基準価額×信託報酬率
（ 投 信 会 社 ）	( 7 )	(0.198)	委託した資金の運用の対価
（ 販 売 会 社 ）	(13)	(0.357)	運用報告書など各種書類の送付、口内でのファンドの管理、購入後の情報提供などの対価
（ 受 託 会 社 ）	( 1 )	(0.016)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) そ の 他 費 用	1	0.014	(b) その他費用＝作成期間のその他費用÷作成期間の平均受益権口数
（ 監 査 費 用 ）	( 0 )	(0.002)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（ 印 刷 費 用 等 ）	( 0 )	(0.012)	印刷費用等は、法定開示資料の印刷に係る費用など
合 計	22	0.586	
作成期間の平均基準価額は、3,729円です。			

(注) 作成期間の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) その他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を作成期間の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

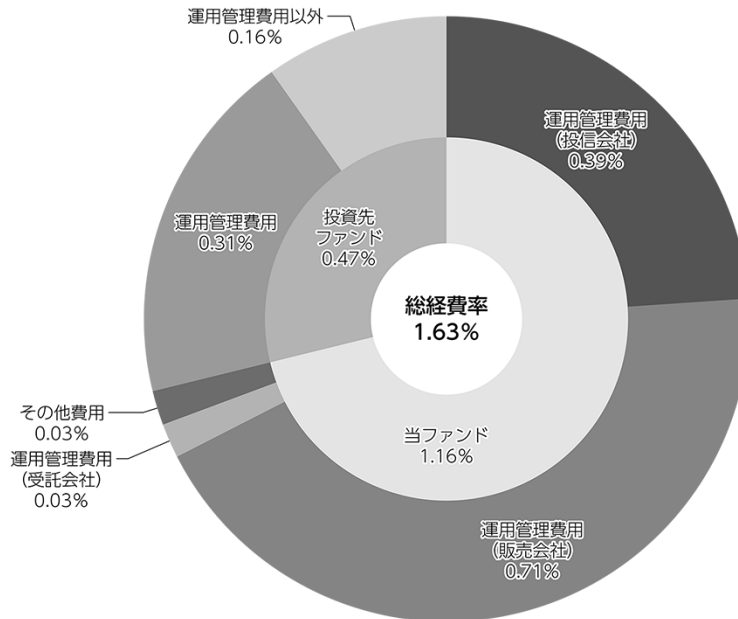
(注) この他にファンドが投資対象とする投資先においても信託報酬等が発生する場合があります。



## (参考情報)

## ○総経費率

作成期間の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を作成期間の平均受益権口数に作成期間の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.63%です。



(単位:%)

総経費率(①+②+③)	1.63
①当ファンドの費用の比率	1.16
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.31
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.16

(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注) 「その他費用」には保管費用が含まれる場合があります。なお、「その他費用」の内訳は「1万口当たりの費用明細」にてご確認いただけますが、期中の費用の総額と年率換算した値は一致しないことがあります。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 投資先ファンドとは、当ファンドが組み入れている投資信託証券（親投資信託を除く。）です。

(注) 当ファンドの費用は、親投資信託が支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注) 当ファンドの費用と投資先ファンドの費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

## ○売買及び取引の状況

(2023年7月19日～2024年1月17日)

## 投資信託証券

銘 柄		第161期～第166期			
		買 付		売 付	
		口 数	金 額	口 数	金 額
国内	ワールド・コア・ソブリン・ボンド・ファンド クラスA	千口 283,504	千円 114,185	千口 1,202,715	千円 484,412

(注) 金額は受け渡し代金。

## 親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘 柄		第161期～第166期			
		設 定		解 約	
		口 数	金 額	口 数	金 額
	マネー・アカウント・マザーファンド	千口 204	千円 204	千口 553	千円 554

## ○利害関係人との取引状況等

(2023年7月19日～2024年1月17日)

## 利害関係人との取引状況

## &lt;世界標準債券ファンド&gt;

区 分	第161期～第166期					
	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況B	$\frac{B}{A}$ %	売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況D	$\frac{D}{C}$ %
投資信託証券	百万円 114	百万円 114	100.0	百万円 484	百万円 484	100.0

## &lt;マネー・アカウント・マザーファンド&gt;

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは三井住友信託銀行株式会社です。

## ○第一種金融商品取引業、第二種金融商品取引業又は商品取引受託業務を兼業している委託会社の自己取引状況（2023年7月19日～2024年1月17日）

該当事項はございません。また委託会社に売買委託手数料は支払われておりません。

## ○自社による当ファンドの設定・解約状況

(2023年7月19日～2024年1月17日)

該当事項はございません。

## ○組入資産の明細

(2024年1月17日現在)

## ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

銘	柄	第160期末	第166期末		
		口数	口数	評価額	比率
		千口	千口	千円	%
ワールド・コア・ソブリン・ボンド・ファンド クラスA		15,287,746	14,368,535	5,863,799	98.2
合	計	15,287,746	14,368,535	5,863,799	98.2

(注) 比率は、純資産総額に対する評価額の割合です。

## 親投資信託残高

銘	柄	第160期末	第166期末	
		口数	口数	評価額
		千口	千口	千円
マネー・アカウント・マザーファンド		6,222	5,874	5,884

(注) 親投資信託の2024年1月17日現在の受益権総口数は、1,936,930千口です。

## ○投資信託財産の構成

(2024年1月17日現在)

項 目	第166期末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
投資信託受益証券	5,863,799	97.1
マネー・アカウント・マザーファンド	5,884	0.1
コール・ローン等、その他	169,257	2.8
投資信託財産総額	6,038,940	100.0

(注) 比率は、投資信託財産総額に対する割合です。

## ○資産、負債、元本及び基準価額の状況

項 目	第161期末	第162期末	第163期末	第164期末	第165期末	第166期末
	2023年8月17日現在	2023年9月19日現在	2023年10月17日現在	2023年11月17日現在	2023年12月18日現在	2024年1月17日現在
	円	円	円	円	円	円
(A) 資産	6,360,110,300	6,271,202,474	6,027,232,406	6,170,226,694	5,918,233,788	6,038,940,218
コール・ローン等	140,860,061	142,917,170	139,051,007	131,657,825	148,957,843	129,777,983
投資信託受益証券(評価額)	6,213,016,370	6,122,051,435	5,882,087,508	6,032,550,509	5,763,258,187	5,863,799,247
マネー・アカウント・マザーファンド(評価額)	6,233,869	6,233,869	6,093,891	6,018,360	5,884,022	5,884,022
未収入金	—	—	—	—	133,736	39,478,966
(B) 負債	47,124,218	47,598,380	49,979,300	47,207,157	67,603,821	68,659,623
未払金	—	—	—	—	—	26,809,713
未払収益分配金	33,385,521	33,162,537	32,861,817	32,411,356	31,719,480	31,500,474
未払解約金	6,808,876	6,817,308	10,545,412	7,644,192	28,509,719	3,186,638
未払信託報酬	5,956,172	6,493,661	5,329,364	5,774,498	5,862,463	5,590,657
未払利息	248	184	29	32	26	41
その他未払費用	973,401	1,124,690	1,242,678	1,377,079	1,512,133	1,572,100
(C) 純資産総額(A-B)	6,312,986,082	6,223,604,094	5,977,253,106	6,123,019,537	5,850,629,967	5,970,280,595
元本	16,692,760,962	16,581,268,991	16,430,908,641	16,205,678,105	15,859,740,092	15,750,237,324
次期繰越損益金	△10,379,774,880	△10,357,664,897	△10,453,655,535	△10,082,658,568	△10,009,110,125	△ 9,779,956,729
(D) 受益権総口数	16,692,760,962口	16,581,268,991口	16,430,908,641口	16,205,678,105口	15,859,740,092口	15,750,237,324口
1万口当たり基準価額(C/D)	3,782円	3,753円	3,638円	3,778円	3,689円	3,791円

(注) 当ファンドの第161期首元本額は16,826,038,659円、第161～166期中追加設定元本額は243,099,626円、第161～166期中一部解約元本額は1,318,900,961円です。

(注) 1口当たり純資産額は、第161期0.3782円、第162期0.3753円、第163期0.3638円、第164期0.3778円、第165期0.3689円、第166期0.3791円です。

(注) 2024年1月17日現在、純資産総額は元本額を下回っており、その差額は9,779,956,729円です。

## ○損益の状況

項 目	第161期	第162期	第163期	第164期	第165期	第166期
	2023年7月19日～ 2023年8月17日	2023年8月18日～ 2023年9月19日	2023年9月20日～ 2023年10月17日	2023年10月18日～ 2023年11月17日	2023年11月18日～ 2023年12月18日	2023年12月19日～ 2024年1月17日
	円	円	円	円	円	円
(A) 配当等収益	45,501,990	45,363,694	44,886,816	44,309,873	43,418,189	43,188,332
受取配当金	45,507,519	45,368,008	44,888,359	44,310,541	43,418,837	43,188,859
受取利息	-	21	53	-	-	-
支払利息	△ 5,529	△ 4,335	△ 1,596	△ 668	△ 648	△ 527
(B) 有価証券売買損益	16,605,226	△ 52,744,806	△ 195,982,714	221,657,818	△ 147,280,244	153,923,507
売買益	16,922,118	437,381	1,086,566	223,241,532	1,369,017	154,725,357
売買損	△ 316,892	△ 53,182,187	△ 197,069,280	△ 1,583,714	△ 148,649,261	△ 801,850
(C) 信託報酬等	△ 6,115,934	△ 6,667,846	△ 5,472,316	△ 5,929,387	△ 6,019,716	△ 5,673,162
(D) 当期繰越損益金 (A+B+C)	55,991,282	△ 14,048,958	△ 156,568,214	260,038,304	△ 109,881,771	191,438,677
(E) 前期繰越損益金	△ 4,831,940,590	△ 4,769,971,489	△ 4,756,003,654	△ 4,868,012,252	△ 4,529,359,875	△ 4,630,687,401
(F) 追加信託差損益金	△ 5,570,440,051	△ 5,540,481,913	△ 5,508,221,850	△ 5,442,273,264	△ 5,338,148,999	△ 5,309,207,531
(配当等相当額)	( 440,494,497)	( 437,907,206)	( 434,792,982)	( 429,307,076)	( 420,811,344)	( 418,335,413)
(売買損益相当額)	(△ 6,010,934,548)	(△ 5,978,389,119)	(△ 5,943,014,832)	(△ 5,871,580,340)	(△ 5,758,960,343)	(△ 5,727,542,944)
(G) 計 (D+E+F)	△ 10,346,389,359	△ 10,324,502,360	△ 10,420,793,718	△ 10,050,247,212	△ 9,977,390,645	△ 9,748,456,255
(H) 収益分配金	△ 33,385,521	△ 33,162,537	△ 32,861,817	△ 32,411,356	△ 31,719,480	△ 31,500,474
次期繰越損益金 (G+H)	△ 10,379,774,880	△ 10,357,664,897	△ 10,453,655,535	△ 10,082,658,568	△ 10,009,110,125	△ 9,779,956,729
追加信託差損益金	△ 5,570,440,051	△ 5,540,481,913	△ 5,508,221,850	△ 5,442,273,264	△ 5,338,148,999	△ 5,309,207,531
(配当等相当額)	( 440,494,497)	( 437,907,206)	( 434,792,982)	( 429,307,076)	( 420,811,344)	( 418,335,413)
(売買損益相当額)	(△ 6,010,934,548)	(△ 5,978,389,119)	(△ 5,943,014,832)	(△ 5,871,580,340)	(△ 5,758,960,343)	(△ 5,727,542,944)
分配準備積立金	231,868,733	235,503,973	239,065,607	246,233,646	246,021,241	254,344,847
繰越損益金	△ 5,041,203,562	△ 5,052,686,957	△ 5,184,499,292	△ 4,886,618,950	△ 4,916,982,367	△ 4,725,094,045

(注) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は各期末の評価換えによるものを含みます。

(注) 損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 分配金の計算過程(2023年7月19日～2024年1月17日)は以下の通りです。

項 目	2023年7月19日～ 2023年8月17日	2023年8月18日～ 2023年9月19日	2023年9月20日～ 2023年10月17日	2023年10月18日～ 2023年11月17日	2023年11月18日～ 2023年12月18日	2023年12月19日～ 2024年1月17日
a. 配当等収益(経費控除後)	41,021,111円	38,695,569円	39,414,405円	43,322,000円	37,398,439円	41,945,312円
b. 有価証券売買等損益(経費控除後・繰越大損金補填後)	0円	0円	0円	0円	0円	0円
c. 信託約款に定める収益調整金	440,494,497円	437,907,206円	434,792,982円	429,307,076円	420,811,344円	418,335,413円
d. 信託約款に定める分配準備積立金	224,233,143円	229,970,941円	232,513,019円	235,323,002円	240,342,282円	243,900,009円
e. 分配対象収益(a+b+c+d)	705,748,751円	706,573,716円	706,720,406円	707,952,078円	698,552,065円	704,180,734円
f. 分配対象収益(1万口当たり)	422円	426円	430円	436円	440円	447円
g. 分配金	33,385,521円	33,162,537円	32,861,817円	32,411,356円	31,719,480円	31,500,474円
h. 分配金(1万口当たり)	20円	20円	20円	20円	20円	20円

上記各資産の評価基準及び評価方法、また収益及び費用の計上区分等については、法律及び諸規則に基づき、一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して評価計上処理しています。

## ○分配金のお知らせ

---

	第161期	第162期	第163期	第164期	第165期	第166期
1 万口当たり分配金 (税込み)	20円	20円	20円	20円	20円	20円

## ○お知らせ

---

### 約款変更について

2023年7月19日から2024年1月17日までの期間に実施いたしました約款変更はございません。

当ファンドの主要投資対象先の直近の運用状況について、法令および諸規則に基づき、次ページ以降にご報告申し上げます。

種類・項目	ワールド・コア・ソブリン・ボンド・ファンド クラスA
	ルクセンブルグ籍円建外国投資信託
<b>運用の基本方針</b>	
基本方針	利子収入などを中心とする安定的な信託財産の成長をめざします。
主な投資対象	ソブリン債券(国債、州政府債、政府保証債、国際機関債など)を主要投資対象とします。
投資方針	<ul style="list-style-type: none"> <li>国際経済・国際政治の動向に大きな影響を与えると見られる国や地域の通貨建てのソブリン債券(国債、州政府債、政府保証債、国際機関債など)を主要投資対象とします。</li> <li>通貨選定にあたっては、金利水準を重視し、経済情勢、政治の安定性、市場の流動性なども考慮します。</li> <li>原則として、買付時においてBBB(Baa)格相当以上の格付が付与されているソブリン債券に投資します。ただし、債務履行能力が高いと運用会社が判断した場合は、BB(Ba)格相当以下の国や地域のソブリン債券に投資する場合があります。</li> <li>外貨建資産については、原則として為替ヘッジは行ないません。</li> </ul>
主な投資制限	<ul style="list-style-type: none"> <li>株式への投資は行ないません。</li> <li>外貨建資産への投資割合には制限を設けません。</li> </ul>
収益分配	原則として、毎月12日(休日の場合は翌営業日)に分配を行ないます。
<b>ファンドに係る費用</b>	
信託報酬など	純資産総額に対し年率0.31%以内(国内における消費税等相当額はかかりません。)
申込手数料	ありません。
信託財産留保額	ありません。
その他の費用など	事務管理費用、資産の保管費用、有価証券売買時の売買委託手数料、設立に係る費用、法律顧問費用、監査費用、信託財産に関する租税など。
<b>その他</b>	
投資顧問会社	日興アセットマネジメント ヨーロッパ リミテッド
管理会社	日興AMルクセンブルグ・エス・エイ
信託期間	無期限
決算日	原則として、毎年2月末日

◆投資明細表

ワールド・コア・ソブリン・ボンド・ファンド クラスA

2023年2月28日現在

数量/ 額面	銘柄	通貨	(単位：日本円) 市場価格	純資産に占める 割合 (%)
公式な証券取引所に上場している譲渡可能証券 債券およびその他の債務証券				
オーストラリア				
5,000,000.00	AUSTRALIAN GOVT. 1.75% 20-21/06/2051	AUD	275,956,485	4.3
8,750,000.00	AUSTRALIAN GOVT. 1% 20-21/11/2031	AUD	635,742,868	10.1
			<b>911,699,353</b>	<b>14.4</b>
インドネシア				
40,000,000,000.00	INDONESIA GOVT 7.375% 17-15/05/2048	IDR	366,324,532	5.8
67,000,000,000.00	INDONESIA GOVT 7.5% 17-15/05/2038	IDR	622,169,419	9.8
37,500,000,000.00	INDONESIA GOVT 8.25% 15-15/05/2036	IDR	370,255,786	5.8
			<b>1,358,749,737</b>	<b>21.4</b>
メキシコ				
50,700,000.00	MEXICAN BONOS 10%06-20/11/2036	MXN	399,057,900	6.3
128,000,000.00	MEXICAN BONOS 7.75% 11-29/05/2031	MXN	870,263,692	13.7
24,000,000.00	MEXICAN BONOS 8.5% 09-18/11/2038	MXN	166,485,528	2.6
35,000,000.00	MEXICAN BONOS 8.5% 09-31/05/2029	MXN	248,655,519	3.9
			<b>1,684,462,639</b>	<b>26.5</b>
フィリピン				
15,000,000.00	ASIAN DEV BANK 0.5% 13-11/07/2023	MXN	106,800,800	1.7
			<b>106,800,800</b>	<b>1.7</b>
韓国				
15,000,000,000.00	EXP-IMP BK KOREA 8% 19-15/05/2024	IDR	135,509,350	2.1
			<b>135,509,350</b>	<b>2.1</b>
国際機関				
1,452,000.00	EUROPEAN INVT BK 3.3% 17-03/02/2028	AUD	126,832,009	2.0
4,000,000.00	INT BK RECON&DEV 0% 11-16/11/2026	AUD	311,461,407	4.9
			<b>438,293,416</b>	<b>6.9</b>
英国				
22,000,000,000.00	EURO BK RECON&DV 5.2% 21-28/05/2024	IDR	193,893,328	3.0
10,500,000,000.00	EURO BK RECON&DV 5.6% 18-30/01/2025	IDR	92,258,635	1.5
			<b>286,151,963</b>	<b>4.5</b>
米国				
8,300,000.00	INT BK RECON&DEV 0.5% 12-13/08/2032	MXN	26,194,409	0.4
23,300,000.00	INT BK RECON&DEV 0% 18-25/05/2033	MXN	63,820,887	1.0
8,610,000.00	INTERAMER DEV BK 5.64% 19-25/05/2023	MXN	62,986,236	1.0
45,641,000.00	INTERAMER DEV BK 7.5% 07-05/12/2024	MXN	316,647,627	5.0
20,400,000,000.00	INTL FIN CORP 8% 18-09/10/2023	IDR	184,074,058	2.9
			<b>653,723,217</b>	<b>10.3</b>
			<b>5,575,390,475</b>	<b>87.8</b>
有価証券ポートフォリオ合計			<b>5,575,390,475</b>	<b>87.8</b>
純資産の要約				
			純資産に 占める割合 (%)	
有価証券ポートフォリオ合計			<b>5,575,390,475</b>	<b>87.8</b>
銀行預金			<b>693,328,862</b>	<b>10.9</b>
その他の資産および負債			<b>79,508,160</b>	<b>1.3</b>
純資産合計			<b>6,348,227,497</b>	<b>100.0</b>



ポートフォリオの内訳

セクター配分	ポートフォリオに 占める割合 (%)	純資産に 占める割合 (%)
政府	73.4	64.4
国際機関	26.6	23.4
	<b>100.0</b>	<b>87.8</b>

国別配分	ポートフォリオに 占める割合 (%)	純資産に 占める割合 (%)
メキシコ	30.2	26.5
インドネシア	24.4	21.4
オーストラリア	16.4	14.4
米国	11.7	10.3
国際機関	7.9	6.9
英国	5.1	4.5
韓国	2.4	2.1
フィリピン	1.9	1.7
	<b>100.0</b>	<b>87.8</b>

## ◆損益計算書および純資産変動計算書

## ワールド・コア・ソブリン・ボンド・ファンド クラスA

2023年2月28日に  
終了した会計年度  
(単位：日本円)

<b>収益</b>		
債券利息	JPY	393,559,527
銀行預金利息		4,860,497
その他の収益		91,155
<b>収益合計</b>		<b>398,511,179</b>
<b>費用</b>		
運用報酬		17,313,919
預託報酬		1,709,694
管理報酬		2,457,705
専門家報酬		2,599,430
年次税		657,882
銀行借入利息		1,308,355
名義書換代理人報酬		2,174,031
印刷費用		27,576
その他費用		1,544,398
<b>費用合計</b>		<b>29,792,990</b>
<b>投資純利益（損失）</b>		<b>368,718,189</b>
実現純（損）益内訳：		
投資		396,339,892
外貨換算		(7,263,709)
<b>当期実現純利益（損失）</b>		<b>757,794,372</b>
評価（損）益の純変動額内訳：		
投資		323,141,242
<b>運用による純資産の純増加（減少）額</b>		<b>1,080,935,614</b>
受益証券の申込に係る受取代金		49,257,052
受益証券の買戻に係る支払純額		(881,800,910)
収益分配金		(627,130,524)
期首純資産		6,726,966,265
<b>期末純資産</b>		<b>6,348,227,497</b>

# マネー・アカウント・マザーファンド

## 運用報告書

第14期（決算日 2023年10月12日）  
（2022年10月13日～2023年10月12日）

当ファンドの仕組みは次の通りです。

信託期間	2009年10月30日から原則無期限です。
運用方針	公社債への投資により、安定した収益の確保をめざして安定運用を行ないます。
主要運用対象	わが国の国債および格付の高い公社債を主要投資対象とします。
組入制限	株式への投資は行ないません。 外貨建資産への投資は行ないません。

## ファンド概要

主として、わが国の国債および格付の高い公社債に投資を行ない、利息等収益の確保をめざして運用を行ないます。ただし、市況動向に急激な変化が生じたとき、ならびに残存信託期間、残存元本が運用に支障をきたす水準となったときなどやむを得ない事情が発生した場合には、上記のような運用ができない場合があります。

## 【運用報告書の表記について】

・原則として、各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しておりますので、表中の個々の数字の合計が合計欄の値とは一致しないことがあります。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。

## ○最近5期の運用実績

決 算 期	基 準	価 額		債 組 入 比 率	純 資 産 額
		期 騰 落	中 率		
10期(2019年10月15日)	円		%	%	百万円
	10,028		△0.0	—	586
11期(2020年10月12日)	10,025		△0.0	—	888
12期(2021年10月12日)	10,023		△0.0	—	1,125
13期(2022年10月12日)	10,022		△0.0	—	560
14期(2023年10月12日)	10,018		△0.0	—	458

(注) ファンドの商品性格に適合する適切なベンチマークおよび参考指数はございません。

## ○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準	価 額	
		騰 落	率
(期 首) 2022年10月12日	円		%
	10,022		—
10月末	10,022		0.0
11月末	10,021		△0.0
12月末	10,020		△0.0
2023年1月末	10,020		△0.0
2月末	10,020		△0.0
3月末	10,020		△0.0
4月末	10,020		△0.0
5月末	10,019		△0.0
6月末	10,019		△0.0
7月末	10,019		△0.0
8月末	10,018		△0.0
9月末	10,018		△0.0
(期 末) 2023年10月12日	10,018		△0.0

(注) 騰落率は期首比です。

## ○運用経過

(2022年10月13日～2023年10月12日)

## 基準価額の推移

期間の初め10,022円の基準価額は、期間末に10,018円となり、騰落率は△0.0%となりました。

## 基準価額の変動要因

期間中、基準価額に影響した主な要因は以下の通りです。

<値下がり要因>

- ・無担保コール翌日物金利がマイナス圏で推移したこと。

(国内短期金利市況)

無担保コール翌日物金利は、期間の初めの-0.03%近辺から、日銀によるマイナス金利政策の下でコール市場でもマイナス圏での取引が続き、-0.03%近辺で期間末を迎えました。

国庫短期証券（TB）3ヵ月物金利は、期間の初めの-0.16%近辺から、日銀による国債買入れの継続などを受けてマイナス圏での推移が続き、-0.21%近辺で期間末を迎えました。

## ポートフォリオ

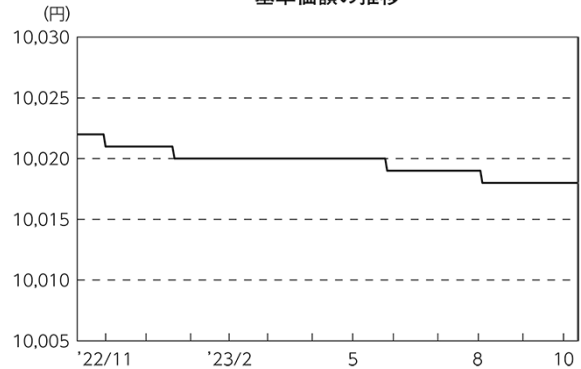
運用の基本方針に従い、国庫短期証券の購入や現先取引、コール・ローンや金銭信託などを通じて、元本の安全性を重視した運用を行ないました。

## ○今後の運用方針

引き続き、安定した収益の確保をめざして安定運用を行なう方針です。主要投資対象は原則として、わが国の国債および格付の高い公社債とし、それらの現先取引なども活用する方針です。また、コール・ローンや金銭信託などに投資することもあります。

将来の市場環境の変動などにより、当該運用方針が変更される場合があります。

基準価額の推移



期首	期中高値	期中安値	期末
2022/10/12	2022/10/13	2023/08/03	2023/10/12
10,022円	10,022円	10,018円	10,018円

## ○1万口当たりの費用明細

(2022年10月13日～2023年10月12日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) そ の 他 費 用 ( そ の 他 )	円 0 (0)	% 0.000 (0.000)	(a)その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 その他は、信託事務の処理等に要するその他の諸費用
合 計	0	0.000	
期中の平均基準価額は、10,019円です。			

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

## ○売買及び取引の状況

(2022年10月13日～2023年10月12日)

該当事項はございません。

## ○利害関係人との取引状況等

(2022年10月13日～2023年10月12日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

## ○第一種金融商品取引業、第二種金融商品取引業又は商品取引受託業務を兼業している委託会社の自己取引状況 (2022年10月13日～2023年10月12日)

該当事項はございません。また委託会社に売買委託手数料は支払われておりません。

## ○組入資産の明細

(2023年10月12日現在)

2023年10月12日現在、有価証券等の組入れはございません。

## ○投資信託財産の構成

(2023年10月12日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
コール・ローン等、その他	千円 460,554	% 100.0
投資信託財産総額	460,554	100.0

(注) 比率は、投資信託財産総額に対する割合です。

## ○資産、負債、元本及び基準価額の状況

(2023年10月12日現在)

項	目	当	期	末
(A) 資産				円
	コール・ローン等			460,554,227
(B) 負債				
	未払解約金			460,554,227
	未払利息			154
(C) 純資産総額(A-B)				458,012,074
	元本			457,205,640
	次期繰越損益金			806,434
(D) 受益権総口数				457,205,640口
	1万円当たり基準価額(C/D)			10,018円

(注) 当ファンドの期首元本額は559,411,728円、期中追加設定元本額は65,398,257円、期中一部解約元本額は167,604,345円です。

(注) 2023年10月12日現在の元本の内訳は以下の通りです。

・グローバル・プロスペクティブ・ファンド	237,562,073円	・資源株ファンド 通貨選択シリーズ<オーストラリアドル・コース> (毎月分配型)	1,008,393円
・中華圏株式ファンド (毎月分配型)	61,601,208円	・インデックスファンドMLP (1年決算型)	873,815円
・グローバルC o C o債ファンド 円ヘッジコース	39,403,892円	・S M B C ・日興 世銀債ファンド	817,802円
・グローバルC o C o債ファンド ヘッジなしコース	16,912,508円	・エマージング・プラス・円戦略コース	690,677円
・エマージング・ハイ・イールド・ボンド・ファンド(マネーボールファンド)	12,476,397円	・欧州社債ファンド Bコース (為替ヘッジなし)	553,224円
・エマージング・プラス(マネーボールファンド)	9,883,036円	・D C世界株式・厳選投資ファンド	472,243円
・アジア社債ファンド Bコース (為替ヘッジなし)	9,797,265円	・ピムコUSハイインカム・ローン・ファンド (毎月分配型) 為替ヘッジあり	421,031円
・資源株ファンド 通貨選択シリーズ<ブラジルリアル・コース> (毎月分配型)	9,153,672円	・世界標準債券ファンド (1年決算型)	260,591円
・インデックスファンドMLP (毎月分配型)	7,091,485円	・欧州社債ファンド Aコース (為替ヘッジあり)	198,309円
・アジア・ヘルスケア株式ファンド	6,597,366円	・資源株ファンド 通貨選択シリーズ<南アフリカランド・コース> (毎月分配型)	117,667円
・エマージング・ハイ・イールド・ボンド・ファンド・ブラジルリアルコース	6,192,802円	・上場インデックスファンド海外新興国株式 (MSCIエマージング)	99,902円
・世界標準債券ファンド	6,082,942円	・グローバル・ハイブリッド・プレミア (為替ヘッジあり)	48,754円
・ビッグデータ新興国小型株ファンド (1年決算型)	5,821,782円	・グローバル・ハイブリッド・プレミア (為替ヘッジなし)	22,949円
・エマージング・プラス・成長戦略コース	3,018,587円	・上場インデックスファンド海外先進国株式 (MSCI-KOKUSAI)	19,997円
・ピムコUSハイインカム・ローン・ファンド (毎月分配型) 為替ヘッジなし	3,000,903円	・上場インデックスファンド米国株式 (S&P500)	19,983円
・アジアリートファンド (毎月分配型)	2,676,160円	・上場インデックスファンド豪州リート (S&P/ASX200 A-REIT)	19,977円
・アジア社債ファンド Aコース (為替ヘッジあり)	2,538,599円	・上場インデックスファンド新興国債券	9,981円
・グローバル・ダイナミックヘッジα	2,517,567円	・上場インデックスファンドフランス国債 (為替ヘッジあり)	9,979円
・資源株ファンド 通貨選択シリーズ<米ドル・コース> (毎月分配型)	1,963,920円	・上場インデックスファンドフランス国債 (為替ヘッジなし)	9,979円
・インド株式フォーカス (奇数月分配型)	1,797,541円	・上場インデックスファンド豪州国債 (為替ヘッジなし)	9,978円
・グローバル株式トップフォーカス	1,696,908円	・上場インデックスファンド豪州国債 (為替ヘッジあり)	9,978円
・グリーン世銀債ファンド	1,451,090円	・上場インデックスファンド米国株式 (S&P500) 為替ヘッジあり	9,967円
・アジアREITオープン (毎月分配型)	1,224,190円	・上場インデックスファンド米国債券 (為替ヘッジなし)	9,958円
・日興マナー・アカウント・ファンド	1,018,655円	・上場インデックスファンド米国債券 (為替ヘッジあり)	9,958円

(注) 1口当たり純資産額は1,0018円です。



## ○損益の状況

(2022年10月13日～2023年10月12日)

項	目	当	期
			円
(A) 配当等収益		△	198,410
受取利息			939
支払利息		△	199,349
(B) 保管費用等		△	102
(C) 当期損益金(A+B)		△	198,512
(D) 前期繰越損益金			1,218,941
(E) 追加信託差損益金			129,627
(F) 解約差損益金		△	343,622
(G) 計(C+D+E+F)			806,434
次期繰越損益金(G)			806,434

(注) 損益の状況の中で(E)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 損益の状況の中で(F)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

上記各資産の評価基準及び評価方法、また収益及び費用の計上区分等については、法律及び諸規則に基づき、一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して評価計上し処理しています。

## ○お知らせ

## 約款変更について

2022年10月13日から2023年10月12日までの期間に実施いたしました約款変更は以下の通りです。

- 当ファンドについて、新NISA制度における成長投資枠の要件に適合させるため、当該ファンドにて行なうデリバティブ取引の利用目的を明確化するべく、2023年7月21日付けにて信託約款の一部に所要の変更を行ないました。(付表、第16条、第17条、第18条)